

- 「そうそうそうだよね」と思うところに赤線を引きながら、また、「いやいや違うんじゃないの」と思うところに青線を引きながら文章を読みましょう。
- 多田さんが「頑張らない生き方って難しいと思う」のはなぜだと思いますか。本文の内容から考えてみましょう。

例) 小さい頃から頑張ると褒められ、「頑張ることは正しいこと」「認められるためには頑張ることが必要」と自然に思うようになったこと。また、アスリートらの「努力は必ず報われる」「頑張れば夢はかなう」という言葉から、「頑張ることが良いこと(正しいこと)」という意識を持たせるため。

- あなたが、もし、誰かに「どうしてそんなに頑張るの?なんで頑張らなければいけないことをあえて自分に課すの?」と言われたら、あなたなら何と答えますか。考えてみましょう。

略

- この記事にピッタリと決まるタイトルを考えてみましょう。 **例)「頑張らない勇気」も必要**

- あなたは、多田さんの考えにどのような感想や意見を持ちましたか。

例) 私自身は、何かを頑張ってきたわけではありませんが、多田さんの言うとおりの「頑張らない生き方」は難しいと思います。小さい頃から頑張ることが当たり前だと思って生きてきた人たちが多いと思うからです。頑張れば認められ、夢もかなう、そうなのかもしれませんが、休むことや逃げることに罪悪感を持つことはないかと思います。どんな生き方を選んでも、自分を受け入れ、自分で自分を愛せることが一番。頑張る自分も頑張らない自分も認めてあげる。自分を好きでいる。私もそれが何よりも大事だと思いました。

年 組 名前



頑張らない生き方って難しいと思う。
小さい頃から、勉強でもスポーツでも頑張ると褒められた。周囲の大人も、頑張った末に結果を出すと「すごいね」「すごいね」「頑張ったね」とよく言ったものだ。
単純な子どもだったわたしは褒められるのがうれしかった。から、さらに頑張り、その繰り返しで「頑張ることは正しいこと」「認められるためには頑張ることが必要」と自然に思うようになったこと。また、アスリートらの「努力は必ず報われる」「頑張れば夢はかなう」という言葉から、「頑張ることが良いこと(正しいこと)」という意識を持たせるため。と自然に思うようになった。

オリンピックシーズンになると、よくアスリートらが「努力は必ず報われる」「頑張れば夢はかなう」と言うが、これも「頑張ることが良いこと(正しいこと)」という意識を持たせる一端であると思う。



多田 有希

「どういう意識を持つことが当たり前みたいになる」と、たぶん病気がかかると、頑張りたくても頑張れなくなったり、頑張れない自分の後ろめたさを感じてしまうのではないだろうか。

先日、大学の勉強と資格認められたい気持ちもある。人に頑張らない自分ありのまま

末にこう言った。「自分は特別頭が良いわけでもないし、容姿が優れているわけでもない。凡人だから、頑張る以外にどうしてよいのか分からない」と。世間体もあるし、プライドや見えない生き方」をすることも一つあるかもしれない。頑張りたくても頑張れなくてもよいと思うのだ。また最初から「頑張らない生き方」をすることも一つあるかもしれない。頑張りたくても頑張れなくてもよいと思うのだ。

(2018年10月27日付・岩手日報11面)